

事業番号	02 06 01	事業改善シート(令和3年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課			
		実施期間	S47 ~	E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)								
8つの重点目標	④インバウンド需要を取り込み観光消費額を増加				⑦健康長寿日本一を維持			
総合的に展開する重点政策	3-6 中山間地域での暮らしの価値の再発見		3-7 先端技術の積極的な活用・導入		3-8 生活を支える地域交通の確保			



1 事業の概要

事業の現状・ 目指す姿 (予算編成時) 及び実施内容	【現状】 地域交通については、県民の生活の足として重要な役割を担っており、持続可能な交通体系を構築する必要がある一方で、利用者数の減少により乗合バス事業者等の収益の悪化や市町村の財政負担が増加し、継続的な運行に当たって大きな課題となっている。 バス、トラック事業者には、小規模事業者が多く、また、経営状況が厳しいこと等から、各業界の協会が中心となり、運輸事業の有効性を高める必要がある。
	【目指す姿】 ○持続可能な公共交通の構築 ・広域的、基幹的な地域間幹線バス路線の確保・維持と利便性を向上させる。 ・市町村、交通事業者等と協働して、地域の実情に即した持続可能な交通体系を構築し、利用者の獲得・定着を図る。 ○営業用バス・トラックの輸送サービスの改善、安全運行の確保、環境と共生した安全安心な輸送の確保
	【実施内容】 乗合バス事業者・タクシー事業者・市町村の支援、利用促進のための啓発、バス協会・トラック協会への助成、公共交通の最適化に向けた分析・検討、観光交通案内アプリで取得したデータの活用に向けたシステム拡張、等

指標の状況及び目標値 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	地域間幹線バスの1日当たり輸送量	人	33.2	23.7	↘	22.7	↘	33.2以上	未達成
2	営業用トラックの交通事故件数	件	161	149	↗	109	↗	161以下	達成
3	(参考指標) 地域間幹線バス運行事業者の乗合バスへの低床バス導入率	%	79.3	79.9	—	80.3	—	—	—
4	(参考指標) 長野県観光・交通案内アプリ「信州ナビ」の累計ダウンロード数	DL	66,963	75,129	—	83,895	—	—	—
5									

事業コスト	区分(単位:千円)			
		R1年度	R2年度	R3年度
	前年度繰越額	0	0	42,112
	当初予算額	614,863	622,134	661,624
	補正予算額	0	775,006	1,415,883
	合計(A)	614,863	1,397,140	2,119,619
	うち一般財源	576,828	570,255	622,022
決算額(B)	607,373	1,274,578	2,016,746	
職員数(人)	4.0	4.0	4.0	

成果指標及び目標値の設定理由	1.地域間幹線バスの利用者を維持するため、1日当たり輸送量を成果目標に設定 2.営業用トラックの安全運行確保のため、交通事故件数を成果目標に設定
達成状況の分析	1.地域間幹線バスの1日あたり輸送量については、コロナ禍による外出自粛等の影響もあり、目標未達成となった。 2.営業用トラックの交通事故件数については、安全対策等の実施により109件と目標比52件減少となり、目標を達成した。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域間幹線システムの基盤強化 <ul style="list-style-type: none"> 県でバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する事業者(4事業者、継続12台、新規導入3台)に貸与することでバス路線の基盤強化を行った。 ✓地域公共交通の最適化サポート <ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通ネットワークの再構築を住民にも見えやすい形で取組み、地域公共交通の維持確保を目指すため、既存バス路線の現状・課題を診断するカルテを作成 ✓コロナ禍における事業者支援 <ul style="list-style-type: none"> 県民生活を支える地域交通を確保するため、コロナ禍で厳しい経営環境にあるバス・タクシー事業者の運行継続に要する経費を支援 	 
------	---	---

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> 地域交通は生活の足として重要な役割を担っているところだが、利用者数の減少等により事業者等の収益が悪化しており、継続的な運行に当たって大きな課題となっている。 公共交通機関におけるキャッシュレス決済導入拡大の必要があるが、事業者の導入コストが課題 公共交通は広域圏(生活圈)全体で最適化を図ることが必要であり、市町村が個別で検討するのは非効率的 	<ul style="list-style-type: none"> 地域交通の最適化の検討を促進するため、バス路線のデータの収集・分析を行いカルテを作成する等、新たな施策も行いながら、引き続き公共交通の継続的な運行確保に努める。 国庫補助と協調し県が支援することによりキャッシュレス決済の導入を促進する 生活圈を意識した広域的な公共交通網の構築について、県としても最適化につながる取組を支援する

事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課
-----	------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	地域間幹線バス路線確保維持費補助金	275,946 千円	321,916 千円	339,323 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	地域間幹線バス路線の運行欠損費に対する補助金	補助金	地域間幹線バス路線の確保・維持を図るため、乗合バス事業者が運行する地域間幹線バス路線の運行欠損費を補助 【補助件数 7件(7者 29系統)、補助総額 198,036千円】	
2	地域間幹線バス路線で使用するために購入した車両の減価償却費等に対する補助金	補助金	地域間幹線バスのバリアフリー化、老朽化対策を促進するため、乗合バス事業者が購入した低床バスの減価償却費等を補助 【補助件数 3件(3者 17台)、補助総額 17,582千円】	
3	県有民営による幹線バス路線確保対策事業	直接	地域間幹線バス路線の基盤強化を図るため、県がバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する乗合バス事業者に貸与 【購入台数 3台 購入総額 77,110千円】	
4	地域間幹線バス路線の運行継続に対する補助金	補助金	広域的・基幹的なバス路線を確保するため、地域間幹線バス路線の運行継続に要する経費を補助 【補助件数 5件(5者 18系統)、補助総額 46,595千円】	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	運輸事業振興助成補助金	309,040 千円	310,177 千円	310,595 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	運輸事業振興助成補助金	補助金	バス・トラックの安全・安心な輸送の確保を図るため、長野県バス協会・長野県トラック協会が行う輸送サービスの改善や安全運行の確保等の取組に対して助成 【補助件数 2件(2者)、補助総額 310,595千円】	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
3	公共交通乗換案内サイト構築事業	7,147 千円	5,995 千円	0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	「信州ナビ」へのダイヤ改正反映	直接	長野県観光・交通案内アプリ「信州ナビ」での経路検索を正確に行うため、ダイヤ改正等の情報を提供しようバス事業者・市町村に周知	

事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課
-----	------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
4	みんなのタクシー利活用促進事業	4,900 千円	4,300 千円	3,600 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	ユニバーサルデザインタクシーの導入補助	補助金	AI配車やキャッシュレス化等の活性化策を行うタクシー事業者に対してユニバーサルデザインタクシーの導入補助を実施 【補助件数 4件(4者 6台)、補助総額 3,600千円】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
5	多角連携型モビリティ・ネットワーク形成事業	60 千円	312 千円	112 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	多角連携型モビリティ・ネットワーク形成事業	直接	地域交通の最適化に向けた取組を、様々な関連分野における専門的・複合的知見からサポートするため、市町村等の要望に応じて、交通専門家のほか、ICT・観光等の多様な連携分野の知見者を派遣 【モビリティアドバイザー派遣先 2市町、2地域振興局】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
6	地域公共交通最適化推進事業	4,543 千円	4,686 千円	23,787 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	地域公共交通最適化サポート事業	委託	地域交通の最適化にかかる市町村、事業者等の取組を推進するため、地域バス路線のデータ収集・分析を行い、現状・課題を診断するカルテを作成 【カルテ策定広域 3広域(上伊那・北アルプス・長野地域)】
2	地域公共交通計画策定支援事業	補助金	地域の交通課題の解決に向けた取組が生活圏を意識した区域で着実に進むよう、複数の市町村等で取り組む地域公共交通計画策定に係る費用を支援 【補助地域数 2地域】
3	持続可能で最適な地域公共交通システム構築事業	負担金	地域公共交通の持続的発展のため、全県レベルの法定協議会を立ち上げ、交通事業者・国・市町村等とともに、広域的な公共交通ネットワークの再構築に向けた取組を実施

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
7	公共交通機関におけるキャッシュレス化推進事業	- 千円	- 千円	8,728 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	公共交通機関におけるキャッシュレス化推進事業	補助金	県内公共交通機関におけるキャッシュレス決済を推進するため、乗合バス事業者が行う機器導入等に係る費用を支援

事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課
-----	------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
8	地域公共交通運行継続支援事業	- 千円	346,324 千円	822,665 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	地域公共交通運行継続支援事業	補助金	地域公共交通の確保維持を図るため、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、厳しい経営環境にある交通事業者の運行継続を支援 【補助件数 9件(8者)、補助総額 822,665千円】	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
9	バス・タクシー運行継続支援事業	- 千円	- 千円	463,000 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	バス・タクシー運行継続支援事業	補助金	県民生活を支える地域交通を確保するため、コロナ禍で厳しい経営環境にあるバス・タクシー事業者の運行継続に要する経費を支援 【補助件数 256件(256者)、補助総額 463,000千円】	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
10	高速乗合バス利用回復支援事業	- 千円	34,387 千円	44,936 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	高速乗合バス利用回復支援事業	補助金	高速乗合バス路線を活性化させるため、バス事業者等が行う利用促進や収益力強化につながる取り組みを支援 【補助件数 12件(11者)、補助総額 44,936千円】	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
11	公共交通利用促進事業	- 千円	- 千円	0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	公共交通利用促進事業	委託	コロナ禍で減少した公共交通の需要回復のため、安全性と積極的な利用を県民に対し呼び掛けを行う(令和4年度へ繰越し)	